

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年8月25日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172902488		
法人名	有限会社 ライフステージ		
事業所名	グループホーム ひだまりの家		
所在地	北海道旭川市神楽4条1丁目2番4号 (電話) 0166-69-2222		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年8月21日	評価確定日	平成21年9月7日

## 【情報提供票より】(平成21年8月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年12月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	12人	常勤	6人, 非常勤 6人, 常勤換算 4.6人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000円	その他の経費(月額)	21,000~29,000円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,100円		

### (4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	3名	要介護2	1名		
要介護3	2名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 82.2歳	最低	76歳	最高	87歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	神楽神経内科医院・旭川南病院・いまみや歯科医院
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街に位置するこのホームは、利用者が楽しく元気に生活が送れるように、日替わりで活動性を高めるレクリエーションや運動機能の低下防止を考え、ラジオ体操や館内や近所の散歩に取り組んでいます。「ひだまり通信」では写真を活用し、日常生活ぶりや行事の様子、介護スタッフの紹介や行事の案内をしており、利用者の一日の特徴的な様子を「一日一行日誌」にまとめ、家族に伝えています。法人主催の「ふれあい交流祭」では、家族や近隣住民、町内の人達、子供たちも参加して地域との交流にも努めています。また、地域の幼稚園の運動会や学芸会の参加や見学、利用者の誕生会への招待など地域の方々との交流も図っています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的な開催でしたが、年6回の実施を目標に取り組んでおり、ホーム主催の行事や勉強会等の際に運営推進会議を開催するなどして、ホームや利用者、認知症を理解して貰う取り組みを検討しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者・職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、自己評価については、全員で取り組んでいます。また、評価の結果を踏まえ、具体的な改善に向けて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回、実施出来るように取り組んでいます。議題は運営推進会議の趣旨並びに今後の運営について ふれあい交流祭について GHにおける防災について 利用者状況の説明 運営推進会議の年間予定についての質疑応答
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月、利用料金を持参しているのので、来訪時に意見や要望を職員と話し合われています。また、「ひだまり通信」を発行し、日常生活ぶりや行事の様子、職員の紹介など伝えたり利用者の一日の特徴的な様子を「一日一行日誌」にまとめ、家族に送付し喜ばれています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 法人主催の「ひだまり交流祭」の開催を通じて、地域の人達、近隣住民との連携・交流促進に取り組み、町内会の行事や懇親会、ホームの見学等を受け入れ、認知症やホームに対する理解や広報に取り組んでいます。また、地域の幼稚園の運動会や学芸会の参加や見学、利用者の誕生会への招待など地域の方々との交流を図っています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域住民の方々にホームを開放して、認知症やホームへの理解を認識して頂けるよう取り組んでおり、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、五つの「あい」を事業所独自の理念としてつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて具体的な目標を明確にしており、毎月のミーティングや毎日の申し送りの中でも話し合う機会を設け、理念の実践に向けて日々、取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人主催の「ひだまり交流祭」の開催を通じて、地域の人達、近隣住民との連携・交流促進に取り組んでいる。また、町内会の行事や懇親会、ホームの見学等を受け入れ、認知症やホームに対する理解や広報に取り組んでいる。		特筆すべき点として、地域の幼稚園の運動会や学芸会の参加や見学、利用者の誕生会への招待など交流を図っている。また、実習生や芸能ボランティアの受け入れなどにも取り組んでいる。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、自己評価については、全員で取り組んでいます。また、評価の結果を踏まえ、具体的な改善に向けて取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については、年6回、実施出来るように取り組んでおり、メンバーは家族、町内会役員、民生委員、知見を有する有識者、法人代表者及び管理者・職員で構成され具体的に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、ホーム主催の行事や勉強会等の際に 運営推進会議を開催するなどして、ホームや利用者、認知症を理解して貰う取り組みを検討している。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営者、管理者、職員は市の担当者との連携についての重要性を理解しており、市主催の研修会や勉強会にも積極的に参加しており、懸案事項が発生した場合にも連絡や相談を行っている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、利用料金を持参しているため、来訪時に日常の暮らしぶりや健康状態、家族の意見や要望など職員と話し合われている。また、「ひだまり通信」で日常の生活ぶりや行事の様子を写真を掲載して伝えている。金銭管理についても毎月報告されている。</p>		<p>特筆すべき点として、「ひだまり通信」では、介護スタッフの紹介や行事の案内をしており、利用者の一日の特徴的な様子を「一日一行日誌」にまとめ、家族に送付し暮らしぶりを伝えている。また、希望があれば親族の方にも送付している。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの意見などは、運営推進会議などで意見交換されており、玄関入り口には、苦情受付ポストの設置やホーム宛の葉書が用意され自由に持ち帰り郵便ポストから投函でき、不満や苦情を表す機会が確保されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は、職員の異動や離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしており、ホーム便りの「ひだまり通信」の中で職員の紹介記事を掲載している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人については、経験のある職員との同行研修を実施している。グループホーム連絡協議会や研究会などの外部の研修参加や介護リーダーが率先して職場内研修やOJTを実施して職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、グループホーム連絡協議会・研究会での交流でケアサービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスをいきなり開始するのではなく、利用前には、利用者・家族の見学や面談などで不安を解消する取り組みや「おやつ」「食事」などを取って貰い、少しでも場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	センター方式で利用者、一人ひとりの状態を見極め、出来る範囲で一緒に行えるものを探し、ホーム敷地内の畑で栽培したジャガイモやトマト、茄子などの野菜を収穫する喜びを共有し、雑巾縫いやカラオケなどの趣味ごとやホーム行事参加などで本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>誕生会や行事などの普段の関わりからの情報収集や本人や家族からの希望や意向の把握に努め、散歩や買い物など一緒に過ごしながらか喜ぶ関係を築いている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を活用して利用者との日常生活の会話や係わりの中で本人、家族の希望や意向、医師からの助言を介護計画に反映させている。また、課題は職員全員の意見や希望を取り入れ現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に計画的に見直しが行われている。また、利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて通院の支援や、本人の希望や要望がある場合、買い物、散歩、気晴らしのドライブ、外食など、なるべく本人の希望が実現できるように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されており、利用者をよく知る看護師、医師・歯科医師の定期的な往診や看護師との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族の希望や意向があれば、可能な限りホームで対応しており、利用者・家族とも早い段階から話し合いをしながら慎重に対応するよう全職員で方針を共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いは、十分に配慮した取り組みが行われており、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切にして、買い物や散歩、日替わりのレクリエーションや気晴らしのドライブ、誕生日には外食の支援を行っており、ホーム行事への参加など本人の体調を踏まえて希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、職員と利用者が本人のペースに応じて一緒になって楽しんで調理の下ごしらえやテーブル拭きをしている。また、少しでも食欲が湧くように食べやすさや好みなども考慮した盛り付けや味を工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週2回を目安に利用者の希望に応じて対応し、入浴が楽しめるように支援されている。また、排泄の状況や体調を踏まえ、随時シャワー浴も行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式の生活歴や好みを踏まえ、テーブル拭きや食事の下ごしらえ、雑巾縫いなどの役割事やカラオケや音楽鑑賞などの趣味や外食やドライブや行事などの楽しみごとへの支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の体調や状態に配慮しながら散歩や外気浴などを行っている。希望に応じての買い物なども、その日の状況に合わせて個別に取り組んでいる。また、全員で音楽大行進の見学や紅葉狩り、花見など気分転換のために外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間以外は鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、緊急時に速やかに対応ができるように実技を伴う火災避難訓練が実施されその結果を再検証し、より早く安全に避難出来るように話し合い取り組んでいる。</p>		<p>今後は、不測の事態を想定した取り組みとして、緊急連絡網の見直しや初動の際のルール作りやマニュアルの見直しが図られるように検討して頂く事を期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、医師や栄養士の指導や助言を受け具体的な水分・食事摂取量が記録されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>敷地内には、利用者が収穫を楽しめるように花壇や畑が作られトマト・ジャガイモ・茄子などの野菜が栽培されていたり、中庭に出られるウッドデッキでは、外気浴を楽しめ利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意され居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、手作りの作品や家族の写真が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。また、使い慣れた家具やテレビ、ソファ、仏壇などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。